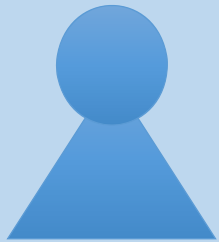


医学部学士課程修了者 → 国際的に活躍する精神医学領域の研究者 履修モデル

臨床医学研究者

入学者



医学部学士課程修了者で臨床医学研究のための臨床知識のバックグラウンドを持ち、本専攻でジョイントディグリーを授与されることで国際的に活躍する臨床医学研究者を目指す学生

名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻

【修了要件】

在籍中に、共通科目(2単位)、専門科目[名古屋大学におけるA群(セミナー10単位、実験研究6単位)、アデレード大学におけるB群(セミナー10単位、実験研究2単位)]の合計30単位を修得し、学位論文の審査に合格し、学術雑誌に受理されていることを要件とする。

【履修する研究テーマ】

名古屋大学とアデレード大学で、臨床医学領域から精神医学専門分野を選択し、名古屋大学の指導教員を主たる指導教員としてアデレード大学側の精神医学専門分野の教員を副指導教員とする。

自閉症スペクトラム、統合失調症の遺伝子変異解析と病態傾向について課題とする。

- ・地域性による遺伝変異の傾向
- ・人種間の違いによる遺伝子変異の傾向
- ・自閉症スペクトラムの疾患群の中での関連遺伝子の探求

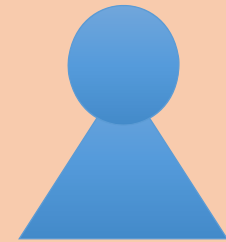
【指導教員】

・主指導教員:1年次に、基本的な精神疾患の病態把握と論文データベースからの検索、リアルタイムPCR、Western blot等の基本的遺伝子解析技術を指導する。

・副指導教員:2年次以降に12ヶ月以上を過ごす連携大学側の指導教員であり、関連領域における、統合失調症候補遺伝子、マイクロサテライト不安定性(MSI)検出等、高度な専門知識と技術指導を主指導教員と連携して行う。オーストラリアの自閉症スペクトラム、統合失調症の遺伝子変異解析結果の傾向と日本との差異の研究について指導、助言する。

・主指導教員:4年次に論文の作成を指導し、名古屋大学とアデレード大学での研究内容をまとめて、論文作成を指導する。

修了者



精神医学領域で国際的人的關係が構築されており、国際的な研究を行うための基盤を持ち、精神医学領域の国際学会において闊達な討論を行うことができる臨床医学研究者